カマチグループ

YACHIYO
REHABILITATION
HOSPITAL

一般社団法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション病院

http://www.yachiyo-reha.com

カマチグループ

一般社団法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション病院

YACHIYO REHABILITATION HOSPITAL

作成2025年8月

病院理念

手には技術
頭には知識
患者様には愛を

基本方針

1. 安心・安全な医療
2. 回復期リハビリテーション医療
3. 地域医療



院長　大鹿 芳郎
【専門／呼吸器外科】

〈院長経歴〉
1987年防衛医科大学卒
第3次モザンビーク派遣輸送調整中隊医官
東海大学医学部医学研究科
自衛隊中央病院
自衛隊福岡病院長
自衛隊札幌病院長
2021年巨樹の会八千代リハビリテーション病院副院長
2024年巨樹の会八千代リハビリテーション病院院長

ご挨拶

八千代リハビリテーション病院は、2006年の開設以来地域の皆様に育まれ、この地域における回復期リハビリテーションの先駆けとしてその歴史を歩んでまいりました。
病院理念として、手には技術、頭には知識、患者様には愛を、を掲げ、基本方針として「安心・安全な医療」「回復期リハビリテーション医療」「地域医療」を常に心がけるようにしており、ご利用いただいた患者様やご家族の皆様には、一人でも多く、この病院で良かった、ここでリハビリを受けられて良かったと思っていただけるように病院職員が一丸となって努力しております。
また、回復期リハビリテーション病院に来られるということは何らかの病気やケガでリハビリテーションが必要になった状態になってしまったということですから、患者様やご家族にとっては心を痛めている状態と言えます。そのような状態から、少しでも機能を回復しできることを増やし、元気に退院の日を迎えることができるように、患者様に寄り添い、そして患者様にも参加していただく全人的なチーム医療を実行していきたいと考えております。
開設以来現在に至るまでの間にお世話になりました地域の皆様や関係医師会、急性期病院、介護施設や行政機関等々の皆様には厚く御礼を申し上げ、今後も引き続き倍旧のご支援ご厚情を賜りますことをお願い申し上げまして、挨拶とします。



回復期リハビリテーション病棟とは

当院は回復期リハビリテーション病院です。回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患や骨折などの病気で急性期にて治療を受け、回復能力が高いと言われている時期の患者様に集中的なリハビリテーションを行う病棟です。当院では、医師・看護師・看護補助者・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士などがチームを組み、患者様1人1人に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、社会や家庭への復帰や寝たきりの防止を目的としたリハビリテーションの提供をさせていただきます。

プロフェッショナルによるチーム医療

最新の設備を使用し、医師や看護師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など、多数の専門職種がチームを組み、治療プログラムに沿って起床時から就寝時まで365日リハビリテーションを提供します。



「回復期」とは？

集中的なリハビリテーションによって、
機能回復が最も期待できる時期です。

回復期リハビリテーション病棟の対象患者

	対　象　疾　患	入院期限
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
②	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
③	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	60日
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日
⑥	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日

八千代リハビリテーション病院
3つのPOINT

POINT 1 日本最大級の回復期リハビリテーショングループ病院

関東・九州・山口県に25の病院を有する医療グループ。病気を発症してから、職業復帰や在宅での安心安全な生活の獲得まで、チームが一丸となり一貫した医療を提供しています。



POINT 2 総勢459名の専門スタッフが在籍

専門スタッフが多数在籍し、患者さまの支援にあたっているので、充実したリハビリを提供しています。

医師：9名／看護師：115名／看護補助者：79名
薬剤師：4名／管理栄養士：6名／医療事務：7名
理学療法士：136名／作業療法士：77名
言語聴覚士：26名／ソーシャルワーカー：10名
※2025年7月1日現在



POINT 3 充実した設備とゆったりした空間

本館と新館（南棟）にそれぞれリハビリ室を設けており、充実した設備と機器を整えています。





THE TEAM

チーム医療を担　うスペシャリスト

医師



安心してリハビリテーションに取り組んでいけるように全身管理を行い、基礎疾患や合併症の医学管理とリスク管理を行います。リハビリの方針を立案し、推進をします。

看護師



患者様の全身状態の観察や管理を行い、健康を維持できるように関わります。そして、患者様お一人おひとりに向き合い、他職種と連携を取りご自宅で自分らしく生活できるよう支援していきます。

看護補助者



快適な入院生活が送れるよう、食事・排泄・入浴などの生活援助や退院へ向けての指導、生活環境の整備、離床活動としてのレクリエーション、体操を積極的に取り入れ援助していきます。

薬剤師



服用している薬剤の情報を集約・管理する薬歴管理。患者様への指導を行い、医師・看護師とともにチーム医療で安全に薬を処方しています。



管理栄養士



一人一人のご病気や身体状況、栄養状態に応じて食事量を設定し、リハビリの効果が最大となるよう栄養管理を行っています。また、入院中でも四季折々の食材をお楽しみいただけるよう、質の高い食事の提供を目指しています。個別の栄養指導も行っております。

理学療法士



運動や物理療法を用いて、起き上がる・座る・立つ・歩くなどの基本的な動作の獲得を目指したリハビリを担当します。筋力・体力・バランスの強化や関節の動きの改善を図ることで、患者様が自立した生活を送れるようサポートします。

作業療法士



着替えやトイレなど、日常生活動作の獲得を目指したリハビリを担当します。掃除や料理、職業復帰に必要な訓練や趣味活動などの練習も行います。一人ひとりの生活目標に合わせて、様々な活動を通し自立した生活を送れるよう支援します。

言語聴覚士



ことばの障害がある患者さんに対し、コミュニケーションの取り方や発音の訓練。集中力や記憶など高次脳機能に障害のある患者さんや、飲み込みの障害のある患者さんに対し、評価・訓練を行います。飲み込みの訓練時に使用する機械（ジェントルスティム・バイタルスティム）を導入しています。

医療事務



入院時の手続きや電話対応、診断書等の受付、会計業務、相談窓口、診療報酬明細書（レセプト）の作成などをしています。また、病院の補修や医療材料の管理も含め、幅広く患者様をサポートしています。

ソーシャルワーカー



入院のご相談や退院後の生活を送る上での不安や困りごとに対する支援を行います。他の医療機関や地域、行政や施設などとの連携をい、患者様が安心して退院できるように支援させていただきます。



Rehabilitation

患者様一人一人の目標に合わせて訓練が行えるよう、設備や機器などの環境を整えています。

歩行訓練機器（All In One）



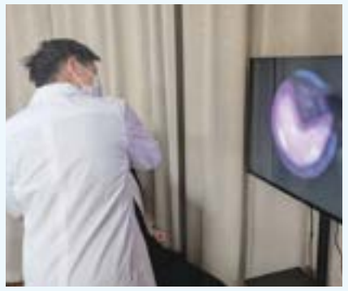
体重を支える装置を使用して歩行訓練を行えます。立つことが難しい方や発症早期から歩行訓練を行います。

3Dプリンタ



患者さんの症状に合わせ、3Dプリンタで自助具を作成し、日常生活動作訓練をします。

嚥下内視鏡検査（VE）



飲み込みの様子をカメラで確認します。必要に応じて検査を行うことで、安全に食事訓練を行うことができます。

趣味活動の訓練（ピアノ）



趣味を取り入れたリハビリを行ないます。退院後にやってみたい趣味や継続したい趣味の訓練も行います。

趣味活動の練習（ゴルフ）



運転支援（ドライビングシミュレータ）



運転支援（実車教習）



運転再開を目指しドライビングシミュレータを使用した訓練を行います。合格すると教習車で敷地内・路上の運転訓練を行います。※運転支援の詳細はホームページをご参照下さい。

体成分分析装置（InBody）



身体の筋肉量などを測定し、リハビリの効果判定を行います。

筋力トレーニング



腕・足・体幹の筋力増強を目的に複数の機器を導入しています。

物理療法



症状に合わせて超音波・温熱・レーザーなど複数の機器を利用した治療も行います。

家事動作訓練



料理・掃除・洗濯・買い物など、退院後に必要な家事動作を想定した訓練を行います。

飲み込み訓練（ジェントルスティム）



口内の機能訓練に加え、電気治療器を使用して飲み込みに関わる筋肉を鍛えます。

入院から退院まで
365日リハビリテーションを提供しています。



入院

入院時は医師･看護師･リハビリスタッフが同席し、ご家族を交え患者様の診察を行い、運動機能や認知機能障害、日常生活に必要な動作の評価を行います。そして、患者様･ご家族にお話を伺いながら治療計画を立て、入院初日よりリハビリを提供していきます。



リハビリテーション開始

患者様のこれまでの生活や、退院後にどんな生活を送りたいかなどを聴取します。
その人らしさを引き出せるよう、リハビリ計画を立案し患者様やご家族と共有します。関節の動きや筋力などの身体機能の検査、認知機能の検査などを行います。また、病状に合わせて高次脳機能や嚥下機能の検査を行います。入院時の日常生活動作（移動、着替え、トイレ動作など）の自立度や介助量を多職種で検査し、安全に入院生活を送れるように情報を共有します。



定期面談

毎月評価を行い、患者様が一日も早く快適な日常生活が送ることができるよう、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護補助者、ソーシャルワーカーといった、各職種がチームとなり、在宅復帰に向けて必要と考えられる介護保険サービスや福祉用具の準備を進めていきます。



退院前面談

退院後の生活を見据え、ご家族様のご意向を伺いながら、社会復帰への環境を整えるサポートを行います。チームを組み、患者様1人1人に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、社会や家庭への復帰や寝たきりの防止を目的としたリハビリテーションの提供をさせていただきます。



退院

退院後に在宅で自分らしい生活ができるよう医療･介護サービスをかかりつけ医、ケアマネージャーやその他の関連機関などへ必要な情報の提供を行います。



入院生活１日の流れ（例）

7：00	8：00	9：00	12：00	14：00	15：00	16：00	18：00	22：00
起床･整容	朝食･健康確認	作業療法	昼食	理学療法	レクリエーション	言語療法	夕飯	消灯
								

退院に向けた支援 Q&A

退院後の生活が不安だという患者様に私たちは、
安心してご自宅に戻れるようサポートします。



何でもご相談ください！



Q 入院中や退院後の経済的なことが気がかりです。



A 患者様一人ひとりに合わせた計画を立て、一緒に解決のための方法を考えさせていただきます。各種手続きや情報提供など不安な点などがあればご相談ください。



Q 退院後、仕事に復帰できるか不安。



A 患者様の復職・新規就労を支援します。職業に合わせた動作訓練やハローワークへの付き添いなどを行います。必要時は、職場までの通勤訓練（電車・バス）、職場訪問も行います。
車の運転が必要な方には、運転支援も実施します。
※復職・就労支援の詳細は、ホームページをご参照ください。





Q 退院後、自宅で安心して生活できるかな…。



A 退院前に患者様と一緒にご自宅に伺います。今の身体で自宅退院した際に、安全な自宅生活を送るために「手すり設置など家屋改修の提案」、「ご家族に対して介助方法の指導」などを行います。









Q 退院後、自分でリハビリをつづけられるかな…。



A 訪問リハ：当院から理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がご自宅に伺い、日常生活動作の自立や、自宅でなければ出来ない動作の獲得を目指して行うリハビリテーションです。

通所リハ：当院へ通える患者様を対象に、筋力・体力の向上を目的に体操やマシーントレーニングを行います。日常生活動作能力の向上を目的に個別訓練も実施します。

外来リハ：退院後に出てくる「これがやりたい！」「あれに困ってる！」に対し、目標期間を決めて短期集中プログラムを計画し、リハビリテーションを行います。



Training Space

リハビリ施設紹介

患者様の目標に合わせ、様々なリハビリを提供できる設備を用意しています。



リハビリテーション室



脊髄損傷者の訓練設備（浴槽）



脊髄損傷者の訓練設備（トイレ）



和室



オープンキッチン



スポーツネット

病棟のご案内

4名部屋

トイレは各部屋出入り口の
近くにあります。
アメニティ代は別途頂戴
いたします。



2名部屋

トイレは出入口すぐそばにあり
ます。
リハビリ着・パジャマ・タオル類・
テレビ代などのアメニティは
お部屋代に含まれています。



個　室

部屋に専用トイレ付。
リハビリ着・パジャマ・タオル類・
テレビ代などのアメニティは
お部屋代に含まれています。

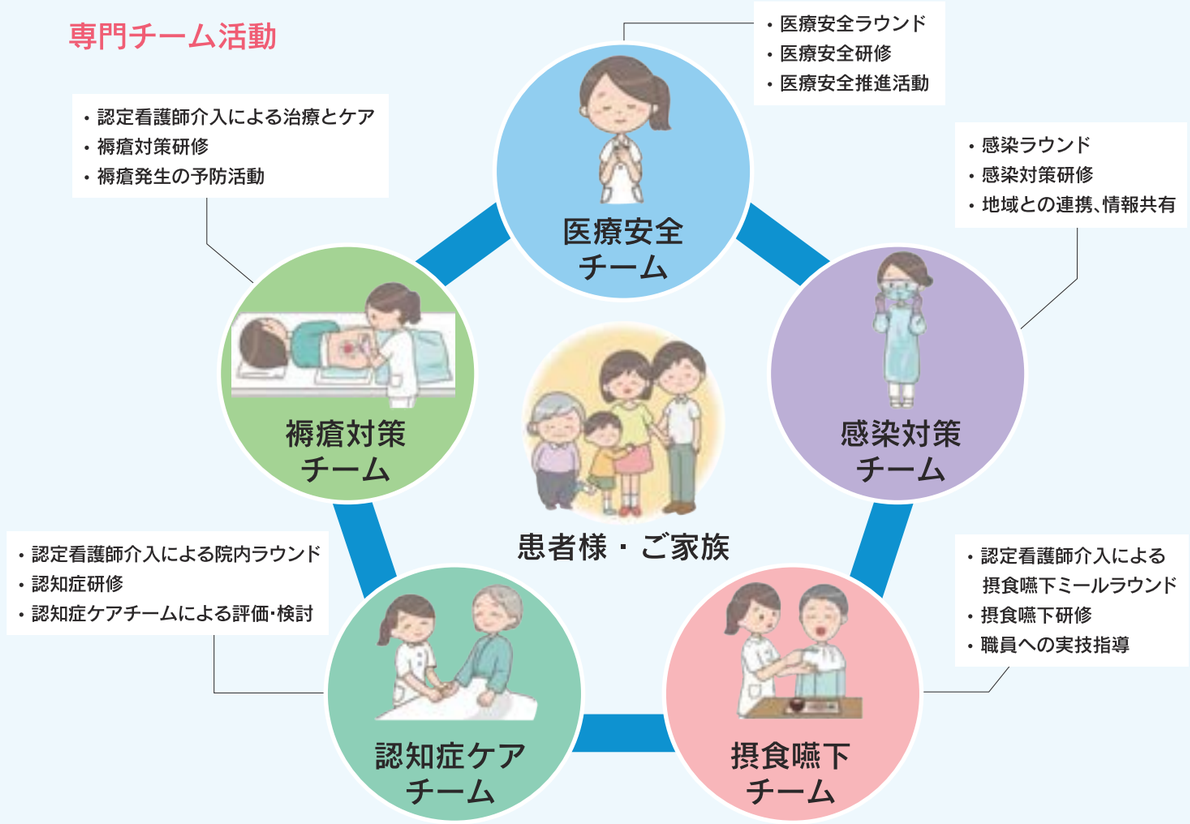


回復期リハビリテーション看護の特徴

●看護職は、24時間365日患者様のすぐそばにいる存在として、様々な情報を得てチーム医療を円滑に進めるためにリーダーシップを発揮しています。

●患者様が安心・安全にリハビリテーションに取り組むことができるよう、全身状態の観察管理および療養環境づくりを目指しています。

専門チーム活動



レクリエーションの充実

病棟デイルームで歌唱や体操・運動する時間を設け、また季節ごとにイベントを行っています。患者様の入院生活が充実し、レクリエーションを通し、機能回復につながるような援助を行っています。



リハビリテーション支援

1日最大3時間のリハビリテーションに取り組むことができるように日々健康管理や心理支援を行っていきます。患者様一人ひとりに寄り添い、できることを引き出す援助（食事・排泄・入浴・更衣・整容・薬剤管理）で、在宅・社会復帰を目指しています。



多職種によるカンファレンス

多職種から編成されるチームでカンファレンスを行い、患者様一人ひとりのリハビリテーションプログラムが作成されます。月に一度、患者様・ご家族様を含めたカンファレンスを行い、退院に向けた意思決定の支援をいたします。



入院までの流れ

病院間の連絡

医師・看護師・ソーシャルワーカーから医療連携室までご連絡いただき、FAXなどで診療情報提供書・内服薬情報・血液データ・看護サマリー（ADLが分かるもの）をお送りいただくようお願いいたします。
入院可否が分かり次第、ご連絡いたします。合わせて入院日時を提示させていただきます。

ご家族様へ急性期病院より連絡

急性期病院のソーシャルワーカーより、ご家族へ入院日時の付き添い確認をお願いいたします。
ご都合がつかなければ、再度日程を提示させていただきます。

ご家族様へ入院前の説明

提示した日程で了承いただければ、ご家族様よりご連絡いただき、入院に必要な説明をさせていただきます。
（ご希望があれば見学対応をさせていただきます。）合わせて、医療連携室まで家族了承の旨をお伝えください。

入　院

入院前日までに以下をご用意ください。

1. 退院証明書	5. リハビリサマリー
2. 診療情報提供書	6. 画像データ（CD-Rでお願いします）
3. 内服薬情報	7. 血液検査データ・その他検査データ
4. 看護サマリー	8. 退院処方（1週間程度）

ACCESS

〒276-0015 千葉県八千代市米本1808番地
TEL：047-488-1555 ／ FAX：047-488-1552 ／ E-mail：chiba@yachiyo-reha.com
http://www.yachiyo-reha.com

電車・バスをご利用の方

【京 成 電 鉄】 勝田台駅下車後、南口東洋バス、または北口当院無料送迎バスへ
【東葉高速鉄道】 勝田台駅下車後、南口東洋バス、または北口当院無料送迎バスへ
【東 洋 バ ス】 米本団地行「八千代リハビリテーション病院」停留所下車

お車をご利用の方

【国道16号線柏方面よりお越しの方】 米本交差点を右折、病院後方入口へ
【国道16号線千葉方面よりお越しの方】 米本交差点を通過、病院正面入口左折へ